

令和5年度自己評価

作成:天王寺幼稚園

1、本園の教育目標

当園では、「心豊かに、やさしく、たくましく」を柱とし、人間として、知・徳・体の全体的な発達を遂げる教育を大きな目標として掲げております。まず、徳育(人格形成)体育(健康)、次に幼児の発達段階に即応した、楽しい遊びの場から知育(知的基礎能力)を養い、調和のとれた基礎教育に教職員一同、邁進しております。

子ども一人一人を大切に、きめ細かな保育を心掛け、子どもの可能性を無理なく引き伸ばし、色々な行事を通して、たくさんの感動を体験、経験させ、その体感からくる心のぬくもり、心の教育を中心に、進めております。人の輪を大切にする心、思いやりの心、お年寄りを大切にする心、最後まで頑張るねばり強い心、そして一番大切な笑顔を忘れない明るい子ども、心豊かな子どもに育てることを目標としています。

日常の五心

「ハイ」という	素直な心
「ありがとうございます」という	感謝の心
「すみません」という	反省の心
「おかげさまで」という	謙虚な心
「わたしがします」という	奉仕の心

ぼくたち、わたしたちは、この心を持つ人になります。

よい子の誓い

最後まで頑張る、粘り強い心を持ちます。
丈夫でたくましい、健康な身体をつくります。
思いやりのある人になります。
心優しく、みんなに親切にします。
動植物を愛し、命を大切にします。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って、自己点検、自己評価を実施することによって、教師自らが客観的に自園を見る目を養い、施設の改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを、重点項目とする。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	評価	取組状況
幼稚園教育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い編成し、教職員の共通理解を図る。	A	新幼稚園教育要領の理解を全教職員で、積極的に推進し、それを現実の保育に添わせるように、具体的な場面について話し合いを行っている。
保護者や地域の信頼に応える幼稚園作りをめざす。	A	早朝保育、長時間の預かり保育の拡充、土曜日保育、園休園日の保育等、子育て支援に力を入れ、地域密着型の園を目標とする。

月ごとに各クラスの成果を報告し、課題を明確にする。	A	各クラスで月や週の目標を定め、月ごとに達成状況を報告し、自己及び園全体の課題について全教職員が共有し、見直しや評価をしい、早期に対応できる様にしている。
子どもの運動能力を引き伸ばす為、各学年ごとにそれぞれの目標を設定し、体力の向上に努める。	A	各年齢の発達段階に即して、マット運動、ボール運動、鉄棒、縄跳び、跳び箱などの活動を通して、基本的な運動能力を養うと共に、子ども達の体力増進を図る。
教員の資質向上の為、全教職員が毎月1回以上公開保育を行い、園内研修を充実させる。	A	各教職員が公開保育を行い、お互いの保育を見合い、よりよい保育環境を指摘し合うと共に、自己研鑽する意欲、姿勢を高めていけるよう研修を重ね、教職員同志が、自由闊達に意見を開示できる環境をつくっていく。
各研修会や研究会に積極的に参加して、教職員に資料提供をする。	A	各種研修会や研究会に参加し、学んだことを資料にまとめ、職員会において報告し、共有化を図るようにしている。
保護者のニーズの把握に努め、要望や苦情に適切な対応をはかる。	A	保護者との懇談会を定期的実施するとともに、行事などについてアンケートを実施。出された意見に対して、必要なものについては、園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組む。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

A	教師一人一人が学校評価の趣旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組んでいる様子が見られた。今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、さらに充実した実践ができる様に努力を積み重ねてほしい。
---	---

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
地域や学校との連携活動	園児が地域や学校と行事等で交流すると共に、教職員間で、子育てや教育に関して話し合ったり、研修する等の機会をさらに充実させる。
自己点検、自己評価	最低限こうして欲しいといった基本の項目を点検課題として挙げているので、各教職員においてはさらに課題を挙げるようにして自己研鑽に取り組むようにしていく。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の精神に則った、私学の独自性に充分配慮しつつ、子育ての中で保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認する事で、本園のビジョンを策定する基礎としたい。

6、学校関係者の評価

学校関係者評価委員会からは、本園が大変良好な運営をし、又、学校評価にも積極的に取り組んでおり、重点項目の絞り込みなど、適切に行われているというご意見を頂いた。令和6年6月に行われた進学説明会に参加された名門私立小学校8校の校長先生等から頂いた素晴らしい評価を掲載しましたのでご覧下さい。

7、財務状況

令和5年度は園児数が減少傾向にあり、事業活動収益も減少しました。
しかしながら、安全かつ充実した保育ができるように必要な施設修繕や設備改善には惜しまなく投資いたしました。